

9月29日、鎌田さんが発言された内容です。

発言された言葉を文書にしていますので、分かり辛いところがあります。

この考えを前提とした山田県議の調停であれば、大きな問題を含みます。

- ・ メガソーラも検討した。ところが雇用確保に繋がらない
- ・ 出荷先はナンチクであり、ナンチクから資金援助を受けている。
- ・ 一編に12万頭規模を考えてはいない。
- ・ 末吉で親が養豚、お茶をやっていた。
- ・ 環境問題が厳しいから、3000頭規模、飼育していたところは廃業しているから、出荷頭数が減少している。
- ・ ナンチクは自前の入荷先を確保したいという思惑がある。私にやってくれないかとの話になった。
- ・ 12万頭規模に至るには20年くらいのスパンで考えている。
- ・ 10分の1、又は10分の2程度の規模の養豚場を作って、3年間程度、地元の人に見てもらって、これなら次を作っても良いよ、このような事は出来ないかと。
- ・ 市とか県も中に入れて、今、養豚場には外部の人は入れないというが、無菌の服装を着て視察してもらって、臭いとか、我々が視察考えている。
- ・ 聞いたところによると、今の養豚場はカーテンを閉めて臭いが外に出ない方法とか、土着菌で鋸くずを80センチ入れてやれば。新しくロイヤルポークが作った養豚場はオープンだから、相当な臭いがすると聞いている。
- ・ 我々が見ているところは鋸くずと土着菌で糞も尿も菌が食べてしまうから、殆ど臭いがしないことを視察で確認している。
- ・ 小さなものを試験的に作って、試験的にというわけではないが、きちっとした品物を作って、観察しながら20年スパンくらいですれば、相当な雇用も発生する。
- ・ ナンチク自体もナンチクハムというのを作っているから、ハム工場も作ってくださいよとのお願いもしている。
- ・ そういうことが出来るのかなという考えで、あくまでも地元はそういうのは一切ダメだという事で、川内の産廃ではないが、最後は県の判断とか、市の判断で強行で作って行く、そのようなやり方では、これまで地元の方と仲良くやってきたので、この方法はとりたくない。色々悩んでいる。
- ・ 全然知らないところであれば、やりやすい。昔から一番近くしている地域であり、その辺りを考えた上で、どこか接点があるのであれば、接点を考えながら条件を出してもらえれば、条件に沿ったやり方でやる方法は無いかと今のところは思っている。
- ・ この場で結論をとということではなく、このような場を持って話をしながら、どうしても養豚場はいかんと、他の方法なら協力すると言ってもらえれば、・・
- ・ 私も色々考えながら悩んでいる。